

# チャペル週報

イエスは言われた。

わたしが命のパンである。

わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、

わたしを信じる者は決して渴くことがない。

(ヨハネによる福音書 6:35)



吉岡記念館

2008.7.7~7.11 No.13  
関西学院宗教センター

---

☆チャペル・スケジュール☆

---

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

---

- 7月7日(月) 神 貴田直樹(神4)  
経 舟木 讓(宗教主事)  
人 松岡克尚(人間福祉学部准教授)
- 
- 7月8日(火) 神 David Wider(宣教師)  
文 藤原一二三(社会学部非常勤講師)  
社 出合い<sup>⑮</sup> 嶺重 淑(人間福祉学部宗教主事)  
法 李 楨 善(神学部大学院生)  
経 舟木 讓(宗教主事)  
商 福島 旭(中学部宗教主事)  
総 加藤 晃 規(総合政策学部教授・学部長)
- 
- 7月9日(水) 神 オムリ・ブージッド(キリスト教と文化研究センター研究員・神学部非常勤講師)  
社 出合い<sup>⑯</sup> 舟木 讓(経済学部宗教主事)  
法 Christian Morimoto Hermansen(宣教師)  
経 オルガンの調べに親しもう<sup>⑳</sup>高橋明子(関西学院チャペルオルガニスト)  
商 山本 俊 正(宗教主事)  
人 河 鱒 一 彦(人間福祉学部教授)  
理 「リトリート ― 前進のための後退」松 木 真 一(宗教主事)  
総 中 條 道 雄(総合政策学部教授)
- 
- 7月10日(木) 神 キリスト教音楽に触れよう<sup>㉑</sup> 水 野 隆 一(神学部教授)  
文 English Chapel Andreas Rusterholz(宣教師)  
社 学期末にあたって 高 坂 健 次(社会学部教授・学部長)  
経 山本 俊 正(商学部宗教主事)  
商 English Chapel Richard Stinson(宣教師)  
総 今 泉 信 宏(宗教主事)
- 
- 7月11日(金) 院 中 道 基 夫(神学部准教授)  
神 浅 野 淳 博(神学部准教授)  
文 春学期終了チャペルパーティ  
経 竹 本 洋(経済学部教授・学部長)  
人 芝 野 松次郎(人間福祉学部教授・学部長)  
理 春学期を振り返って 松 木 真 一(宗教主事)
- 

- ◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:00～8:20 於：ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)  
7月11日(金) 夏休みを前にして 岡田 祐 之  
◇総合政策学部早天祈祷会 毎木曜日 午前8:40～ 於：宗教主事室
-

# 信仰について考えられること

浅 野 考 平

私自身は、クリスチャンではない。また、いかなる宗教の信者でもない。かといって、取り立てて無神論者というほど信仰を否定するだけの思考を突き詰めたわけでもない。そんな、ごく普通の、多分、多数派の日本人として、「宗教」についてではなく、「信仰」について何を考えることができるか、少しばかり書いてみたい。

論理的に、あるいは、思考によって神の存在を肯定することも、否定することも証明不可能である。何かしら、「神」というものを定義した上で、そのような神が存在することを否定する事実を見つけ出すことはありうることだろう。しかし、長い年月を耐えて続いている宗教においては、反証を見つけ出すことは考えられない。だからといって、逆に肯定することも、現代人の感性あるいは理性では不可能である。

一方で、21世紀になっても宗教はなくならない。社会が「進歩」すれば、社会が、あるいは人間が世俗化して、信仰を持つ者は自然に減少し、いずれ宗教がいらなくなるとは、世界の現実を見れば、今や誰も考えてはいないだろう。大げさに言えば、人文学や社会科学や自然科学が宗教の代わりをはたすとは考えられない。また、一人の人間としても、無関心でいられない事情も少なからずある。

さて、そんな前提に立って、信仰について考えられることは、何なのだろうか。もし、神、もちろん抽象的にではなく、例えば、キリスト教における神が存在すると仮定した場合に、自分の悩みであれ、社会の問題であれ、その解釈を思考の帰結として与えることはできるはずである。そして、結果として与えられた解釈を、自分にとってリアリティのあるものとして感じられるか、ということが次なる問題となるだろう。その上で、存在するかもしれない、また、存在しないかもしれないところの「神」を信ずるか、信じないか決断をする、それが信仰ではないかと思っている。

(理工学部教授・副学長)

## 関西学院チャペル・オルガニスト秋の発表会

各学部のチャペルで奏楽を担当するチャペルオルガニストはじめレッスン生たち36人が練習の成果を披露します。パイプオルガンに関心のある方、そしてランバス記念礼拝堂に入ったことのない方もお気軽にお越しください。演奏中以外は入退場自由です。

と き：9月27日（土）10時～15時（途中昼休憩あり）

ところ：ランバス記念礼拝堂（上ヶ原）

指導者：高橋明子、太宰まり

主 催：吉岡記念館宗教センター

## ランバスチャペルアワー

学生たちが企画するチャペルです。秋学期の予定は以下のとおりです。

10月20日（月）

11月17日（月）

12月15日（月）

いずれもランバス記念礼拝堂（上ヶ原）にて10：35～11：05

## CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務局宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員（学生証または身分証明書必要）であればどなたでも利用できますので、希望者は事務局までお越しください。

## 使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協会の（JOCOS）切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

## 大阪梅田キャンパス・チャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローチタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜にチャペルアワーを開催しています。

7月11日（金） 18：00～18：20

【メッセージ】アンドレアス・ルスターホルツ（宣教師）

7月18日（金）25日（金） 18：00～18：20

【メッセージ】田 淵 結（大学宗教主事）

春学期の「チャペル週報」は本号が最終号となります。授業期間中毎週月曜日発行の本紙には、各学部のスケジュールほか、教職員によるエッセイなどを掲載しています。この欄は執筆者のお人柄や読者へのメッセージに触れることが出来る場です。各学部のチャペルとともに、あなたの心に何かを残すことができれば幸いです。

秋学期の発行は9月25日（木）からです。よい夏休みを！